



ORCA PROJECT

紹介状作成プログラム FOR 地域医療連携

MI_CAN 操作マニュアル追加機能説明

ver2.1.1.0

平成31年4月25日

日本医師会 ORCA 管理機構

MI_CAN ver2.1.1.0 追加機能	2
MI_CAN の追加機能	4
ORCA API 対応	4
接続設定方法	4
SSL クライアント認証を使用する際の注意	6
PDF フォーム機能(SignedPDF Client ORCA 同梱版のみ)	9
設定方法.....	9
ラベル印刷 画像印字色設定.....	14
設定方法.....	14
MI_CAN の仕様変更	16
新元号に対応.....	16
検査結果取込に結果値形態と基準値区分を追加.....	17
レセプト電算ファイルの患者カナ名に対応	19
検査結果グラフ表示の項目数を 15 項目に変更.....	19
MI_CAN ランチャーに起動パラメータを追加	20
MI_CAN の不具合修正	21
転記設定の「すべての転記時に最終行の改行を付加しない」の不具合修正	21
紹介先取込機能でヘッダ部の項目も紹介先として取り込まれていた問題の修正	21
拡大表示の際に文書作成時のウィンドウが横並びにならず隙間が空いてしまう問題の修正	21

MI_CAN ver2.1.1.0 で追加された機能について説明します。

本バージョンでは、MI_CAN の機能追加の他、仕様変更及び不具合の修正が行われています。なお、従来の機能に関する操作については、「MI_CAN 操作マニュアル(詳細版)」を参照してください。

【追加された主な機能】

項目	No	追加機能	説明
MI_CAN	1	ORCA API 対応	ORCA API に対応しました。 これにより、日医標準レセプトソフト クラウド版から直接データの取得が可能になりました。
	2	PDF フォーム機能	PDF フォームを直接編集することで、診療情報提供書、診断書以外の帳票の作成をおこなえるように致しました。 (SignedPDF Client ORCA 同梱版のみ)
	3	ラベル印刷 画像印字色設定	ラベル印刷の画像印刷で印字色を設定出来るように致しました。
DataMonitor	1	ORCA API 対応	ORCA API に対応しました。 これにより、日医標準レセプトソフト クラウド版から直接データの取得が可能になりました。

【仕様変更項目】

項目	No	仕様変更	説明
MI_CAN	1	新元号に対応	2019年5月1日以降に施行される新元号「令和」に対応しました。
	1	検査結果取込に結果値形態と基準値区分を追加	検査結果の結果値および基準値の表示の際に、「以上」「以下」「未満」の表示をおこなえるように結果値形態と基準値区分を取り込むように変更しました。
	2	レセプト電算ファイルの患者カナ名に対応	レセプト電算ファイルからデータを取得する際に患者カナ名を取り込むように対応しました。
	3	検査結果グラフ表示の項目数を15項目に変更	検査時系列画面から検査項目を選択してグラフを表示する際に、グラフ作成可能な項目数の最大が6個まででしたが、15個までグラフを作成するようにしました。
	4	MI_CANランチャーに起動パラメータを追加	MI_CANランチャーから他のアプリを起動する際に、起動パラメータを設定出来るように対応しました。
DataMonitor	1	レセプト電算ファイルの患者カナ名に対応	レセプト電算ファイルからデータを取得する際に患者カナ名を取り込むように対応しました。

【不具合修正】

項目	No	不具合修正	説明
MI_CAN	1	転記設定で「すべての転記時に最終行の改行を付加しない」にチェックを付けても保存されず、反映されない	転記設定画面にて「すべての転記時に最終行の改行を付加しない」にチェックを付けてOKボタンを押しても設定内容が保存されず、転記時に改行を付加しない設定が反映されない不具合を修正しました。
MI_CAN	2	紹介先取込機能でヘッダ部の項目も紹介先として取り込まれていた問題を修正	紹介先取込機能でCSVファイルのヘッダ部の項目も紹介先として取り込まれていたため、医療機関名がヘッダ情報と同じ場合は取り込まないように修正しました。
MI_CAN	3	文字サイズを150%などにした場合、文書作成時のウィンドウが横並びにならず、隙間が空いてしまう問題を修正	Windowsの設定で、文字サイズを150%などの拡大表示にした場合、文書作成時のウィンドウが横に並ばずに大きな隙間が空いてしまう問題を修正しました。

MI_CAN の追加機能

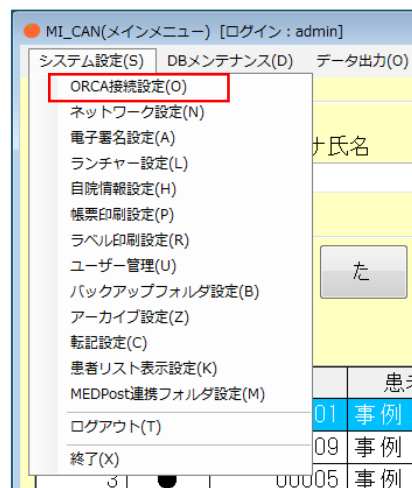
MI_CAN ver2.1.1.0 で追加された機能を説明します。

ORCA API 対応

日医標準レセプトソフト(日レセ)からのデータ取得に、今までのDBに直接接続して取得する方法の他に、ORCA APIを使用してのデータ取得に対応しました。これにより、日医標準レセプトソフト クラウド版から直接データの取得が可能になりました。

接続設定方法

ORCA APIでの接続設定は、[MI_CAN (メインメニュー)]画面のシステム設定から「ORCA 接続設定」を選択して表示される画面で設定します。



「ORCA 接続設定」を選択すると、「ORCA 接続設定」画面が表示されます。

「ORCA 連携をおこなう」にチェックを付加した後、「API を使用して接続」をクリックします。

設定できる内容は以下のとおりです。

項目	説明
サーバ URL	接続先 ORCA サーバの URL を指定します。
ポート番号	ORCA サーバに接続するためのポート番号を指定します。
ユーザ名	ログイン用のユーザ名を指定します。
パスワード	ログイン用のパスワードを指定します。
SSL クライアント認証を使用	SSL クライアント認証を使用するかどうかを選択します。 ※事前にルート CA 証明書を端末に登録する必要があります(次ページ参照)
証明書ファイル (PKCS#12 形式)	SSL クライアント認証をおこなう際のクライアント証明書ファイル (PKCS#12 形式) を指定します。
パスフレーズ	秘密鍵のパスフレーズを指定します。

設定完了後、「接続テスト」をクリックする事で正しい設定で接続出来るかどうかのテストをおこないます。

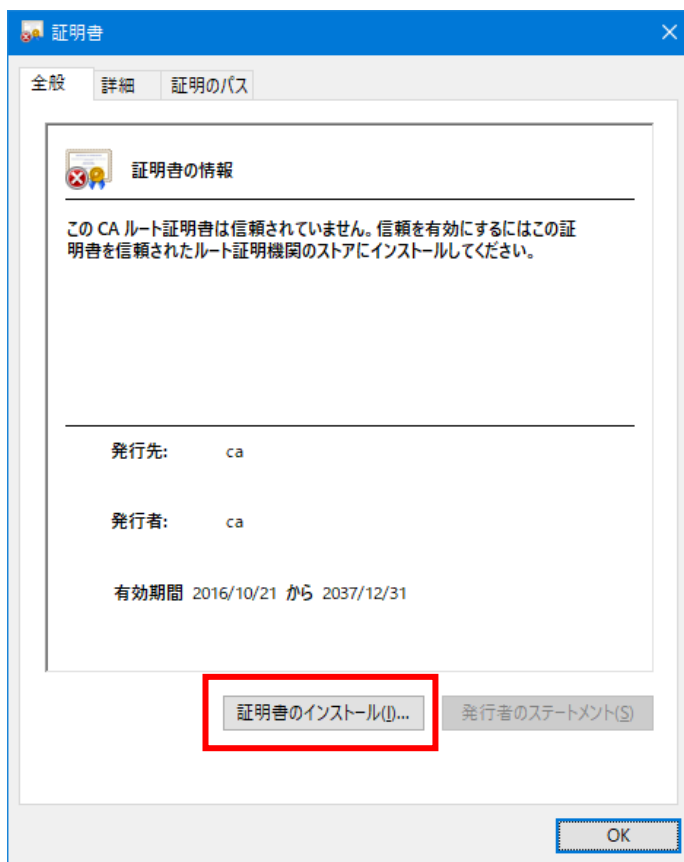
※DataMonitor に関しても ORCA API 接続時に同様の設定が必要になります。

SSL クライアント認証を使用する際の注意

SSL クライアント認証を使用するには、ルート証明書が端末にインストールする必要があります。

インストール方法は以下の通りです(インストールは管理者権限をもつユーザでおこなってください)。

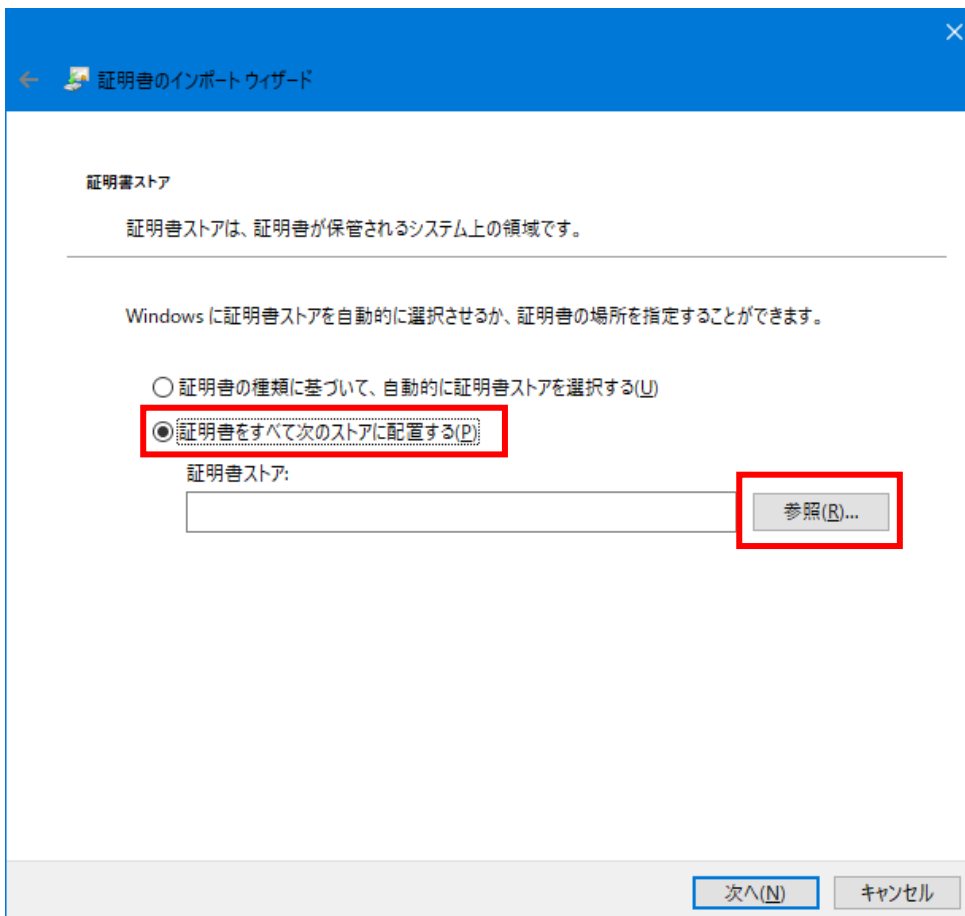
1. 配布されたルート CA 証明書をダブルクリックします。
2. 証明書ダイアログが開きますので、[証明書のインストール(I)]を選択してルート証明書のインストールを実施してください。



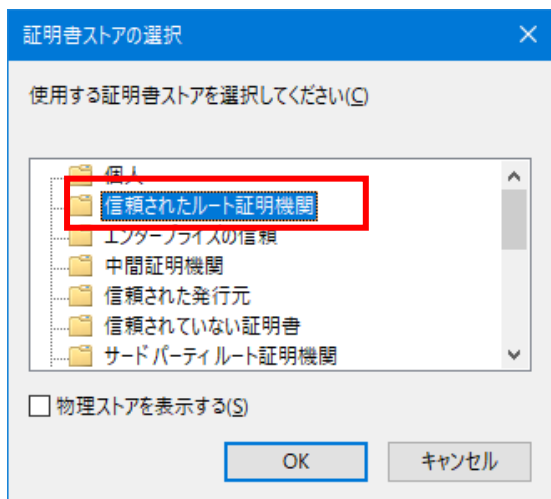
3. 証明書インポートウィザードが開きますので、保存場所を[ローカルコンピュータ(L)]を選択し、[次へ(N)]を選択して証明書のインストールを実施してください。



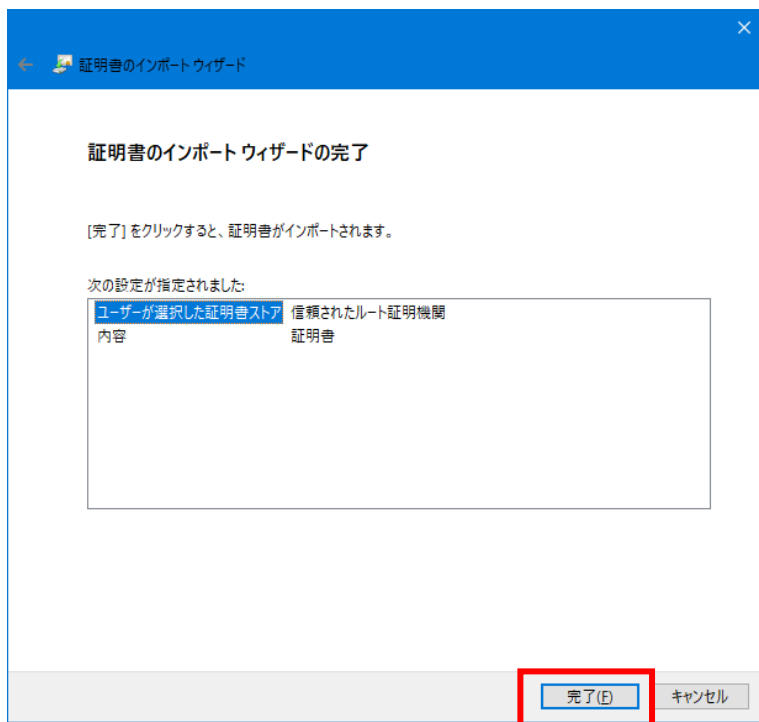
4. [証明書をすべて次のストアに配置する(P)]にチェックし、次に[参照(R)]を選択してください。



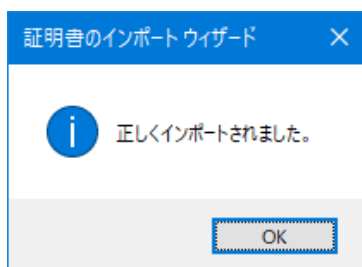
5. 証明書ストアの選択画面で、[信頼されたルート証明機関]を選択し[OK]を選択します。手順4の画面に戻り、証明書ストア欄に[信頼されたルート証明機関]が表示されたことを確認し、[次へ(N)]を選択します。



6. 証明書のインポートの完了画面が表示されるので[完了]を選択し、インポートウィザードを終了してください。



7. [OK]を選択して、以下の画面を閉じてください。



PDF フォーム機能 (SignedPDF Client ORCA 同梱版のみ)

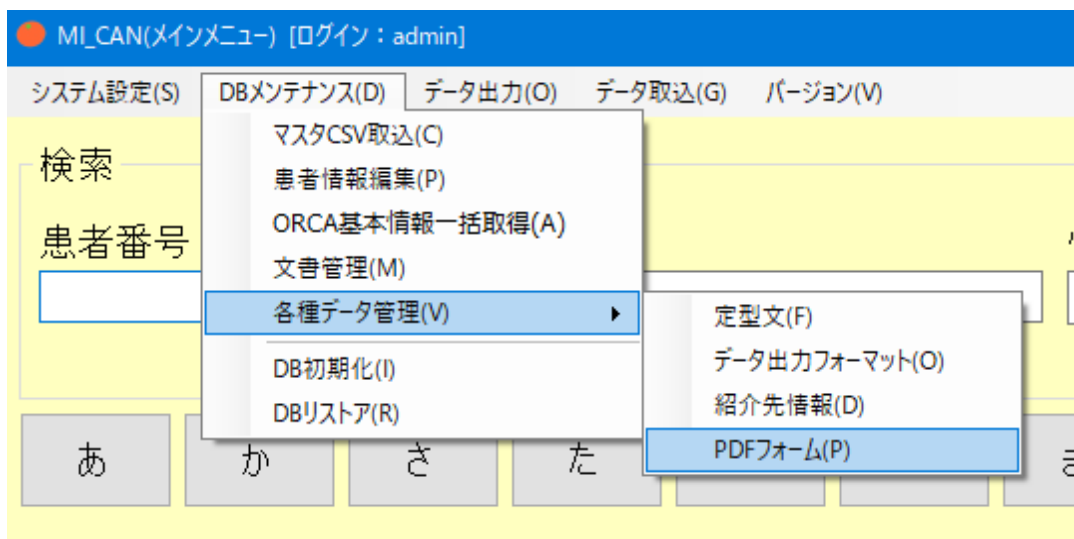
帳票作成時に予め設定した PDF フォームを指定することで、患者情報、医療機関情報等を自動的に PDF に設定し、足りない部分のみを手書きまたは MICAN データから貼り付けることで帳票の作成が可能になります。(入力した情報は DB には保存されませんので、都度作成することになります。)

設定方法

例として「医療要否意見書」(MI_CAN ユーザサイトからダウンロード出来ます)を使用して帳票を作成する流れを説明します。

まずは、MI_CAN ユーザサイトから「医療要否意見書」をダウンロードして、MI_CAN に PDF フォームとして登録します。

[MI_CAN (メインメニュー)] 画面の DB メンテナンスから「各種データ管理」の「PDF フォーム」を選択します。



「PDF フォーム」を選択すると「PDF フォーム管理」画面が表示されます。

表示順	文書タイトル	PDFファイル名
-----	--------	----------

追加 削除

文書タイトル

PDFファイルパス 参照

閉じる

識別用の文書タイトルとダウンロードした PDF ファイルを指定して、「追加」ボタンをクリックしてリストに追加します。

表示順	文書タイトル	PDFファイル名
1	医療要否意見書	様式_医療要否意見書_MI_CAN.pdf

追加 削除

文書タイトル

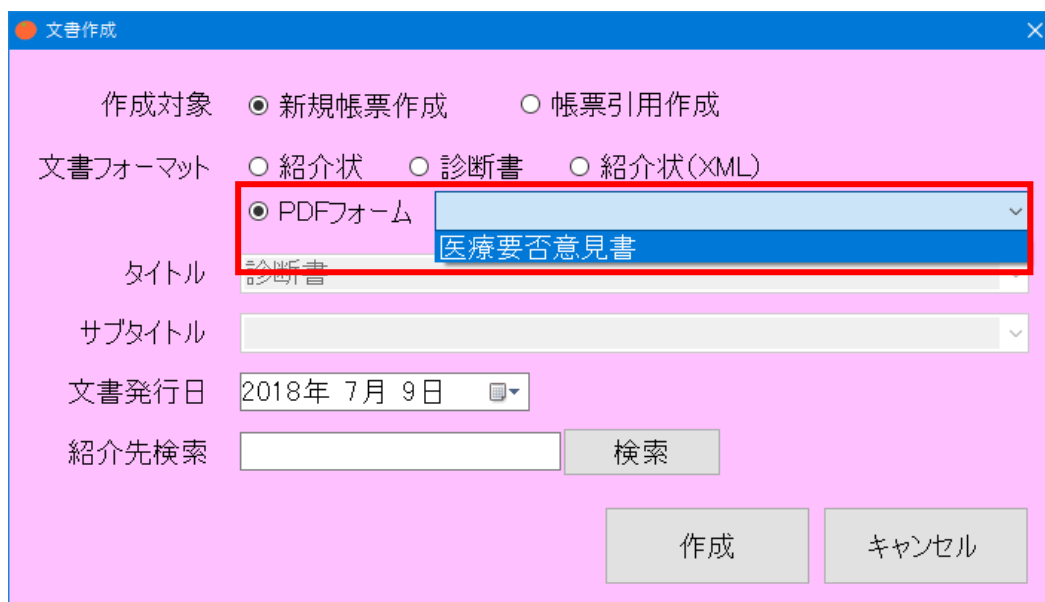
PDFファイルパス 参照

閉じる

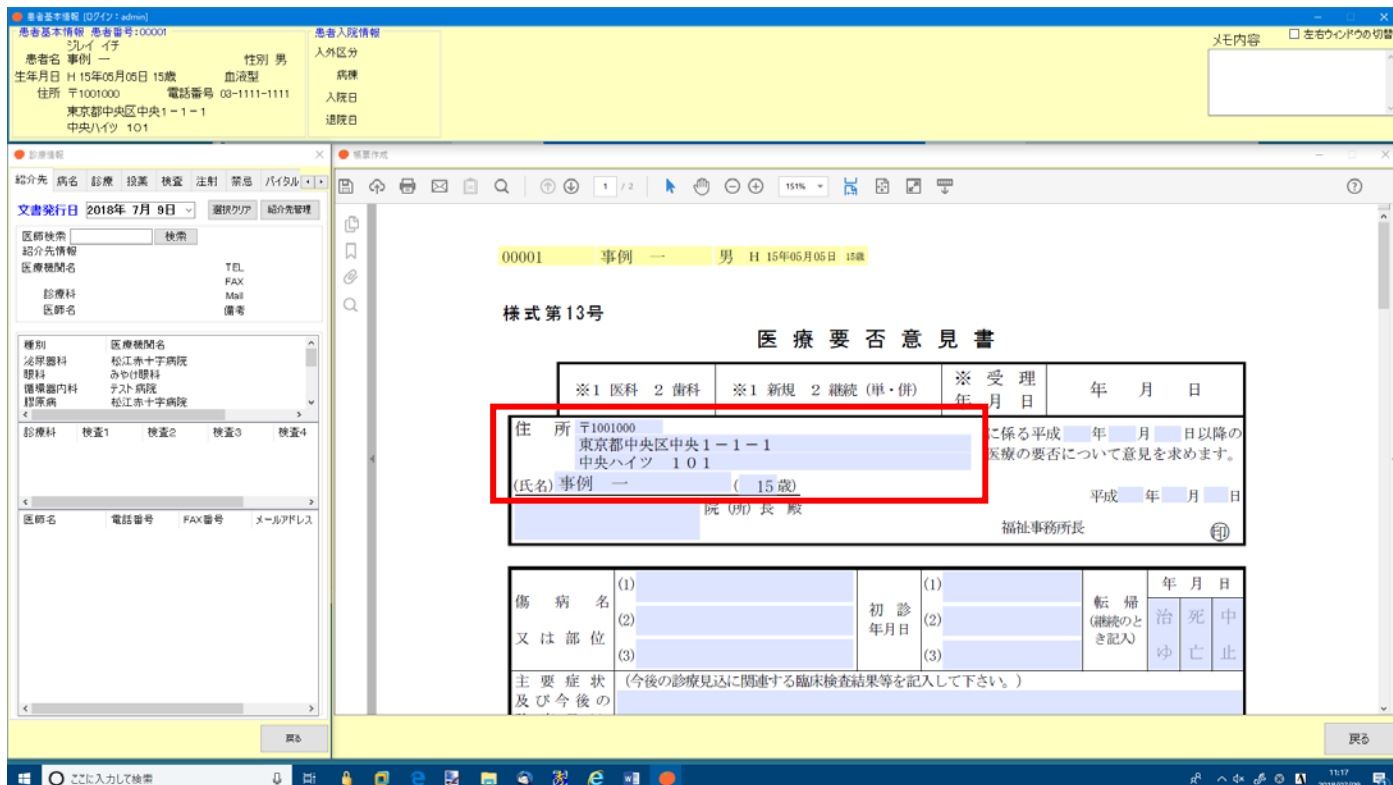
追加した時点でDBに保存されます。このまま「閉じる」ボタンで閉じてください。

その後、患者リストから患者を選択してダブルクリックすると、文書作成画面が表示されます。

PDF フォームを選択してコンボボックスから先程追加した文書タイトルを選択します。



作成ボタンをクリックすると、通常の文書作成画面で選択した患者の頭書き情報等が転記された状態で PDF の編集画面が表示されます。



その他の箇所は、患者の診療情報からコピーして転記してください。

転記は PDF のフォーム部分を右クリックすることで表示されるメニューから「貼り付け」選択してください。

MI_CAN の診療情報から病名を転記する場合は、「セルごとにコピー」でコピー・転記する方法が便利です。

診療情報

紹介先 病名 診療 投薬 検査 注射 禁忌 バイタル

表示転帰 治癒 中止 死亡 移行

No	主	病名	疑	開始日	転帰	転帰
1	●	左前腕骨折		2016/04/14		
2		左前額部切創		2016/04/14		
3		左手背部擦過創		2016/04/14		
4		頭部打撲		2016/04/14		

セルごとにコピー 日付項目を和暦でコピー

戻る

PDF 編集後は、画面上のツールバーから「保存」を選択して保存するか、「印刷」を選択して印刷をおこなってください。(MI_CAN の DB には保存されません。作成した PDF ファイルを自己管理して頂く形になります。)

00001 事例 一 男 H 15年05月05日 15歳

様式第13号

医療要否意見書

※1 医科 2 歯科	※1 新規 2 継続 (単・併)	※ 受 理 年 月 日	年 月 日
------------	------------------	----------------	-------

住 所 〒1001000
東京都中央区中央1-1-1
中央ハイツ 101

(氏名) 事例 一 (15歳)

院 (所) 長 殿

に係る平成 年 月 日以降の医療の要否について意見を求めます。

平成 年 月 日

福祉事務所長 (印)

傷 病 名 又 は 部 位	(1) 左前額部切創	初 診 年月日	(1) 2016/04/14	転 帰 (継続のとき記入)	年 月 日
	(2)		(2)		治 死 中
	(3)		(3)		ゆ 亡 止

主 要 症 状 及 び 今 後 の (今後の診療見込に関連する臨床検査結果等を記入して下さい。)

戻る

ラベル印刷 画像印字色設定

ラベル印刷時の画像印刷において、今までは白黒のみでしたが、グレースケールとフルカラーでの印字を選択出来るように致しました。

設定方法

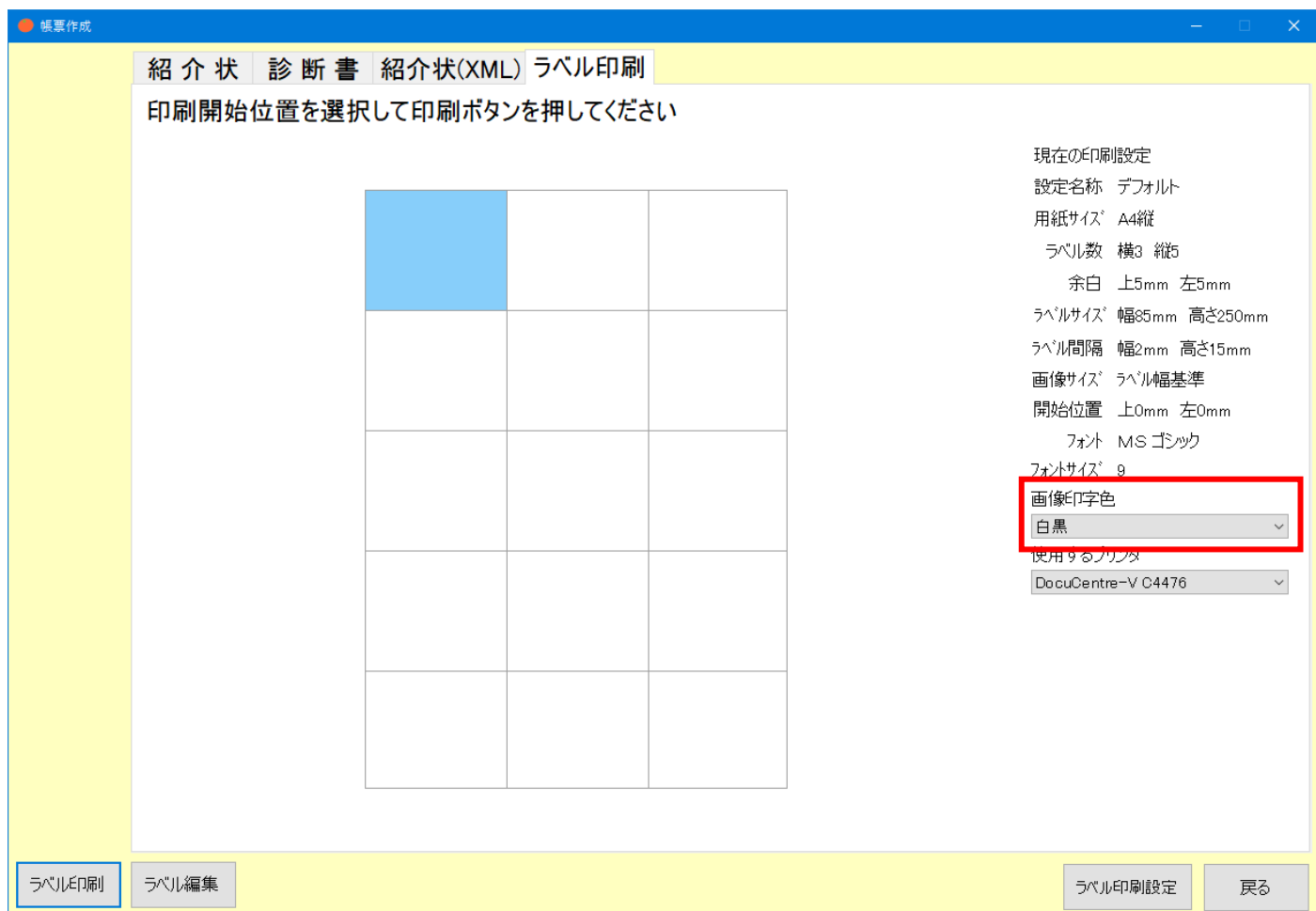
メニュー項目から「ラベル印刷設定」を選択すると下図「ラベル印刷設定画面」が表示されます。

The screenshot shows the 'ラベル印刷設定' (Label Printing Settings) dialog box. The '画像印字色' (Image Print Color) dropdown menu is highlighted with a red box and set to '白黒' (Black and White). Other settings include 'ラベル印刷をおこなう' (Print labels) checked, '設定名称' (Setting Name) set to 'デフォルト' (Default), '用紙サイズ' (Paper Size) set to 'A4 縦' (A4 Vertical), 'ラベルの数' (Number of Labels) set to 3 columns and 5 rows, '余白' (Margins) set to 5 mm on all sides, 'ラベルサイズ' (Label Size) set to 85 mm width and 250 mm height, 'ラベル間隔' (Label Spacing) set to 2 mm width and 15 mm height, 'ラベルごとの印字開始位置' (Label-specific printing start position) set to 0 mm on all sides, '画像サイズの調整' (Image size adjustment) set to 'ラベル幅で調整' (Adjust by label width), '常に1枚目のラベルから印字をおこなう' (Always print from the first label) checked, 'フォント' (Font) set to 'MS ゴシック' (MS Gothic), 'フォントサイズ' (Font size) set to 9, and '使用するプリンタ' (Printer) set to 'Adobe PDF'. The 'レイアウトイメージ' (Layout Image) area shows a 3x5 grid of labels. At the bottom, there are buttons for '追加' (Add), '更新' (Update), '削除' (Delete), and '閉じる' (Close).

画面右下の「画像印字色」にて印字する際の画像の色の選択をおこなってください。

(デフォルトは「白黒」になります)

また、印刷確認画面でも変更が可能です。



MI_CAN の仕様変更

MI_CAN ver2.1.1.0 で仕様変更された項目を説明します。

新元号に対応

2019年5月1日以降に施行される新元号「令和」に対応しました。生年月日等、和暦で表示される箇所に適用されます。

The screenshot shows the MI_CAN (Main Menu) interface. At the top, there are menu options: システム設定(S), DBメンテナンス(D), データ出力(O), データ検索(S), and パスワード(P). Below this is a search section with fields for 患者番号 (Patient No.), カナ氏名 (Kanji Name), 性別 (Gender), and 生年月日 (Date of Birth). A 検索 (Search) button is to the right. Below the search fields are buttons for あ, か, さ, た, な, は, ま, や, ら, わ, ABC, and ALL. A 一覧クリア (Clear List) button is also present. The main area contains a table with the following data:

No	同意	患者番号	患者名	カナ氏名	生年月日	年齢	性別	最終診療日
1		1	事例 一	ジレイ 一	R01.05.01	0歳	男	
2		2	事例 二	ジレイ 二	S65.11.15	38歳	男	

At the bottom of the interface, there are buttons for 終了 (End), ラベル印刷 (Label Print), and データ出力ツール呼出 (Call Data Output Tool).

検査結果取込に結果値形態と基準値区分を追加

検査結果取込時に結果値形態と基準値区分の項目を取り込むように致しました。また、検査結果取込フォーマットにも結果値形態と基準値区分が設定出来るように致しました。

検査取込方法は従来通り、メニューの「データ取込」の「検査結果取込」からおこなってください。

検査結果フォーマットを標準形式、または結果値形態と基準値区分を設定した独自仕様の検査結果を取り込んだ際に、下図の様に結果値と基準値に「未満」「以上」「以下」等の文字が付加されて表示されるようになります。

患者番号	結果	単位	HL	基準値	コメント1	コメント2
1	16.5	U/mL	H	10.0未満		
00002	70.3	U/mL	H	10.0未満		
00003	1200以上	U/mL	H	10.0未満	再検済みです。	
00004	1.0未満	U/mL		10.0未満		
00005						
00006						
00007						
00008						
00009						
00010						

独自仕様の検査結果取込フォーマットの作成方法も従来同様になります。

項目の割り付け表に「結果値形態」と「基準値区分」が追加されておりますので、適切な項目を割り付けてください。

検査結果取込フォーマット編集

元となる検査ファイルの読込 参照 リストに読込

作成済みフォーマットタイトル

読込済みファイル: kensa-sample-hma-mican-2018-04-17.OSV

フォーマットタイトル 最初の1レコードをヘッダとみなして取込時に除外

レコード切替

DB項目名	割り付け1	割り付け2	割り付け3	コード変換	割り付け規則
患者番号(※必須)	患者ID(カルテ番号)			文字列	項目値を結合
患者名	患者氏名(漢字氏名)			文字列	項目値を結合
患者カナ名	半角カナ氏名			文字列	項目値を結合
生年月日	生年月日			年月日	項目値を結合
性別	性別			1.男性 2.女性	項目値を結合
検査施設ID	施設コード			文字列	項目値を結合
依頼ID(※必須)	検査依頼者オーダーID			文字列	項目値を結合
検査日(※必須)	検査実施日(受付日)			年月日	項目値を結合
採取日	検体採取日時			年月日	項目値を結合
透析区分				文字列	項目値を結合
食事区分				文字列	項目値を結合
妊娠区分				文字列	項目値を結合
入外区分				文字列	項目値を結合
オーダーコメント				文字列	項目値を結合
検査項目CD(※必須)	検査項目独自コード			文字列	項目値を結合
検査項目名称(※必須)	検査項目名称			文字列	項目値を結合
結果値(※必須)	検査値			文字列	項目値を結合
HL	異常フラグ			文字列	項目値を結合
単位	単位			文字列	項目値を結合
正常値下限	基準値1(下限)			文字列	項目値を結合
正常値上限	基準値2(上限)			文字列	項目値を結合
検査結果コメント1	結果コメント1(内容)			文字列	項目値を結合
検査結果コメント2	結果コメント2(内容)			文字列	項目値を結合
結果値形態	結果値形態			文字列	項目値を結合
基準値区分	基準値区分			文字列	項目値を結合

フォーマットファイル出力 フォーマットファイル取込 削除 更新 新規登録 キャンセル

レセプト電算ファイルの患者カナ名に対応

レセプト電算ファイル取込時に平成 30 年度以降のレセプト電算ファイルで追加された、患者カナ名を取込できるようにしました。

取込方法は従来通り、メニューの「データ取込」の「レセプトデータ取込」からおこなってください。

「レセプトデータから患者登録」選択時に、レセプト電算ファイルにカナ名が記述されている場合は、取り込んだ患者のカナ名が自動的に登録されます。

※DataMonitor に関しても同様の対応をおこなっております。

検査結果グラフ表示の項目数を 15 項目に変更

検査結果のグラフを表示する際に、前バージョンでは同時に 6 項目までしかグラフ化出来ませんでしたが、本バージョンでは 15 項目までグラフ化をおこなうように致しました。

MI_CAN ランチャーに起動パラメータを追加

MI_CAN のランチャー画面でボタンをクリックして他のアプリケーションを呼び出す際に、起動パラメータを設定して呼び出すことが出来るようになりました。

ランチャー画面は以下の様に変更になります。

ランチャー設定

帳票作成時にランチャーを呼び出す

アプリケーション1
タイトル 略称
実行ファイル 参照
起動パラメータ

アプリケーション2
タイトル 略称
実行ファイル 参照
起動パラメータ

アプリケーション3
タイトル 略称
実行ファイル 参照
起動パラメータ

アプリケーション4
タイトル 略称
実行ファイル 参照
起動パラメータ

アプリケーション5
タイトル 略称
実行ファイル 参照
起動パラメータ

アプリケーション6
タイトル 略称
実行ファイル 参照
起動パラメータ

アプリケーション7
タイトル 略称
実行ファイル 参照
起動パラメータ

アプリケーション8
タイトル 略称
実行ファイル 参照
起動パラメータ

アプリケーション9
タイトル 略称
実行ファイル 参照
起動パラメータ

アプリケーション10
タイトル 略称
実行ファイル 参照
起動パラメータ

ランチャーボタンに略称を表示する際に、略称の長さによってフォントサイズを自動で変更

OK キャンセル

アプリケーションごとにタイトル、略称(ランチャーのボタンに表示される内容)、実行ファイル名、起動パラメータを設定し、ランチャーのボタンを押すことで他のアプリケーションを起動します。

また、lnk ファイル(ショートカットファイル)にも対応しました。

参照ボタンからファイルを選択するか、アプリケーションごとのラベルにドラッグ&ドロップすることで設定することが可能です。ファイル情報から、自動的にタイトル、略称、起動パラメータが設定されます。

「ランチャーボタンに略称を表示する際に、略称の長さによってフォントサイズを自動で変更」にチェックを付けると、略称の長さに依ってランチャーボタンそれぞれのフォントサイズがボタンの幅に合うように変更されます。(フォントサイズは 9pt を最小のフォントサイズとしておりますので、それ以下のサイズにはなりません)

MI_CAN の不具合修正

MI_CAN ver2.1.1.0 で修正した不具合項目を説明します。

転記設定の「すべての転記時に最終行の改行を付加しない」の不具合修正

前バージョンでは、転記設定で「すべての転記時に最終行の改行を付加しない」にチェックを付けても付加状態が保存されず、転記処理時もチェック内容が反映されませんでした。

「すべての転記時に最終行の改行を付加しない」にチェックを付けて OK ボタンを押した際に、設定内容を保存するように修正し、チェックが付いていた場合は、転記時に最終行に改行を付加しないように修正致しました。

紹介先取込機能でヘッダ部の項目も紹介先として取り込まれていた問題の修正

紹介先取込機能で、「紹介先取り込みサンプル CSV」と同様の CSV を取り込んだ際に、ヘッダ部分の項目も紹介先として登録されてしまう問題がございました。

医療機関名が「医療機関名」という名称の場合は、ヘッダと見なして、そのレコード行を紹介先として登録しないように修正しました。

拡大表示の際に文書作成時のウィンドウが横並びにならず隙間が空いてしまう問題の修正

文書作成時の患者情報ウィンドウと文書作成ウィンドウが、通常は隙間無く横並び表示されますが、Windows のシステム設定で、拡大縮小とレイアウトで全体の表示サイズを 150%などにした場合、文書作成時のウィンドウが横並びにならず、大きな隙間が空いておりました。

表示サイズを拡大表示された場合でも、患者情報ウィンドウと文書作成ウィンドウ間の隙間が無いようにレイアウトを調整するように修正致しました。

※本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

※本文中および図中では、TM、Rなどのマークを記載していない場合があります。

日本医師会ORCA管理機構

〒113-0021 東京都文京区本駒込 6-1-21 コロナ社第3ビル 6F